

# オンライン交流で コミュニケーションスキルを磨こう！

## 取組のねらい等



### 【 画面を通してリアルタイムで交流 】

交流先の児童・生徒たちの表情や声等のリアクションによって、世界をより身近に感じることができます。

### 【 外国の文化や習慣などに直接触れる 】

外国語での自己紹介や、共通のテーマに基づく発表を通じて違いを認め合うとともに、グローバルなコミュニケーション能力が培われます。



↑ オンライン交流を実施している様子 ↑

## ～ これまでの事例 ～

### 交流実績のある国・地域

台湾、香港、インド、オーストラリア、ニュージーランド、イスラエル、ポーランド、ドイツ、米国 等

### 交流事例

小学校 ▶ 将来の夢、宝物紹介、ダンス・縄跳びの披露

中学校 ▶ 学校行事の紹介、食べものや漫画の紹介

高等学校 ▶ 世界共通の課題に関するディスカッション

特別支援 ▶ 手話による自己紹介や意見交換



問合せ先

東京都国際交流コンシェルジュ事務局

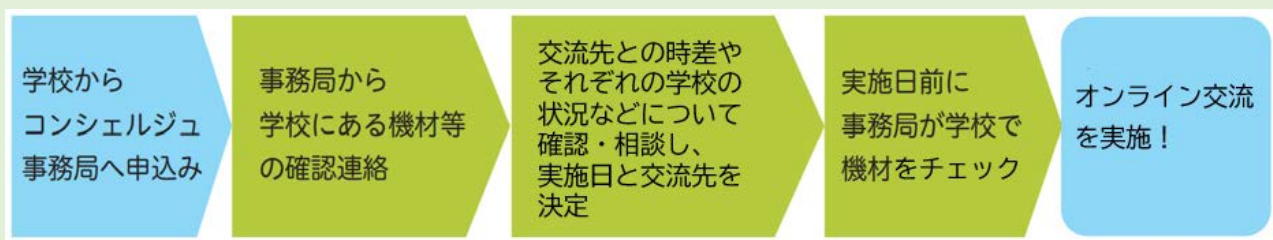
Tel.: 03-6685-9690 E-mail: [niec-edu@or.knt.or.jp](mailto:niec-edu@or.knt.or.jp)

HP・システム:<https://www.tepro.or.jp/school/concierge.html>

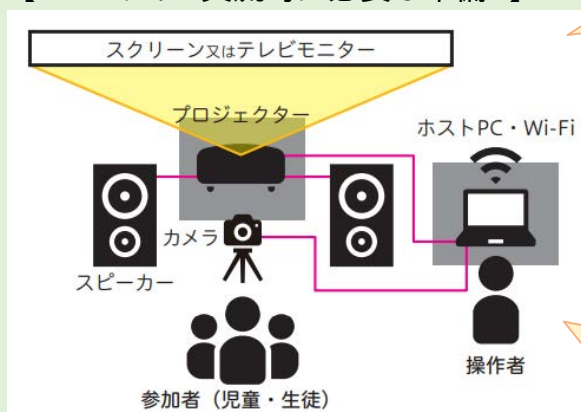


## 御利用の流れ

※「国際交流事例集」(都教委発行)より抜粋、一部変更



### 【 オンライン交流時に必要な準備 】



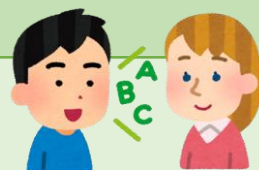
学校ではモニター(大型TVやプロジェクター)と外部スピーカーを御用意していただければ、その他の機材はコンシェルジュにて用意します。

司会進行はコンシェルジュにて対応することも可能です。

また、交流先の児童・生徒の発言内容を聞き取ることが難しい場合には、コンシェルジュが通訳します。先生方には、児童・生徒たちができる限り英語(または相手の言語)で発言できるよう、サポートをお願いします。

### 準備・実施のポイント

- ◆相手に伝えたい内容の写真や絵を準備しましょう。口頭での説明よりビジュアルを用いた方が、さらにイメージが湧きやすくなります。
- ◆質問は英語(または相手の言語)で紙に書きましょう。口頭で十分に伝わらなくても、質問を書いた紙を見せることで、理解してもらいやすくなります。翻訳はコンシェルジュがお手伝いします。
- ◆ダンスや、けん玉など、日本文化に関わるパフォーマンスを準備しましょう。実際に披露すると、交流先の児童・生徒たちに興味を持ってもらいやすくなります。
- ◆マスクで表情が見えにくいため、身ぶりや手ぶりで相手方へ反応を示しましょう。
- ◆一回のビデオチャットは約40分です。クラス全体で参加する場合は、生徒を数名のグループに分けて、グループごとに順番に発言したり、ダンスを披露したりすると、短時間でも全員が参加した実感を得られます。



### 注意事項

- 交流先の国・地域との時差を考慮し、実施日時を決定する必要があります。そのため、御希望に添えない場合や、授業時間を御調整いただく場合があります。
- 交流先の校種が同一にならない場合があります。
- 実施できる日程や1日当たりの実施校数には限りがあります。申込が重複した場合には、オンライン交流未実施校を優先させていただきます。



一般財団法人

東京学校支援機構

Tokyo Education Promotion and Support Organization for Schools